

《図書館特別休館のお知らせ》

蔵書点検のため以下の期間中、図書館は休館となります。
ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

【本館】平成31年2月22日(金)～28日(木)

【分館】平成31年2月16日(土)～21日(木)

休館中の返却はブックポストをご利用ください。ただし、AV資料(CD、DVD、複製絵画、おもちゃ)、大型絵本は破損の恐れがあるため、図書館が開館してから、カウンターへご返却ください。

休館日

2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■は本館の休館日です

＜本館の特別整理期間のお休み＞

2月22日(金)から2月28日(木)まで

＜分館の特別整理期間のお休み＞

2月16日(土)から2月21日(木)まで

2月のギャラリー

雑誌無料配布

＜日時＞ 2月2日(土)～11日(月)
午前9時から午後5時まで
※お1人様5冊まで

編集後記

今までたくさん悩んできましたし、今も悩み事がないわけではありません。ただ、近頃めっきり老け込んだせいか「悩むのも疲れるし、どうでもいいや」と思うようになってしまいました。最近、国民的アイドルグループが活動休止を発表しました。同年代なので、まだまだ活動を続けて欲しいという気持ちもありますが、彼らが、悩みに悩んで下した決断を、多くの人の前で語る姿に、ファンでなくとも心打たれました。彼らの未来が素晴らしいものでありますように。(か)

けやきどおり通信 (No.305)

編集・発行 碧南市民図書館

〒447-0057
碧南市鶴見町1-70-1
TEL: (0566) 41-0894



けやきどおり通信



2019年2月 ～ No.305 ～

人生の

お悩み相談書

さあ、あなたなら

どの本に相談する？

『いきもの人生相談室 動物たちに学ぶ47の生き方哲学』

小林 百合子/文 今泉 忠明/監修 小幡 彩貴/絵 山と溪谷社 (480円)

モテない男性に対し、ニホンアマガエルがアドバイスする!?

生き物の中で未来を想像できる動物は人間だけ、とされているそうです。しかし、その能力があるがゆえに、自分の将来を想像して不安になったり、あれこれ悩んだりしてしまいます。一方、動物たちは、過酷な生存競争のなか「今を生き抜く」ことが一番重要なので、その行動はシンプルで迷いがありません。そんな動物たちの生態や危機に直面したときの行動が、あなたの悩みを解決するヒントになるかもしれません。



『超訳「言志四録」西郷隆盛を支えた 101 の言葉』
濱田 浩一郎/著 すばる舎 (121 千)

みんなに愛されたリーダー・西郷隆盛の人生哲学とは

『言志四録』とは、江戸時代の儒学者・佐藤一斎が、自らの人生観や人の上に立つ者の心構えなどを著した書物です。「指導者のバイブル」として多くのリーダーたちに読み継がれ、明治維新を成し遂げた西郷隆盛も愛読していました。本書では、この『言志四録』に記された教えの中から、西郷自身が選り出し、何度も読み返したという 101 の言葉について、わかりやすく解説しています。どのような苦境においても、西郷を精神的に支えてきた言葉の数々は、悩めるあなたの心にも響くかもしれません。



Life Is
Beautiful

『諭吉に訊け! 現代人のモヤモヤした悩みを晴らす「学問のすすめ」』
奥野 宣之/著 光文社 (159 ユ)

若者よ『学問のすすめ』を読んでネアカになれ!

『学問のすすめ』とは、勉学に励みなさいと叱咤激励しているだけの本ではありません。自分を成長させる仕事の仕方、友人関係の築き方、上手なお金の使い方など、毎日を前向きに生きるためのヒントもたくさん書かれています。本書は、現代の若者の悩みに役立ちそうな部分を引用して現代語に訳し、著者がわかりやすく解説しています。昔の本は難しそう、と敬遠しがちな若い世代に向けて書かれた本です。

『オトナの一休さん』

NHK オトナの一休さん制作班/著
KADOKAWA (188 オ)

常識にとらわれて苦しむ人々に
破戒僧・一休さんからの「喝っ!」

NHK の E テレで放映された話題のアニメ「オトナの一休さん」が本になりました。本の始まりから終わりまで、ファンキーな一休さんの姿に驚くことばかりですが、そのハチャメチャな行動の裏にある真意を知ると、一休さんが多くの人に親しまれていた理由がわかるような気がします。一休さん並に破天荒な人になろう、とは口が裂けても申しませんが、固定観念に縛られず、他人にどう思われようと我が道を行く生き方を、参考にしてみてもいいでしょう。

『心の嵐を青空に』 美輪 明宏/著 家の光協会 (159 コ)

タイトルの「嵐」とは情緒、「青空」は理性のたとえで、何事も感情的にならず、理性的に考えれば、人生がラクになると考える著者が、現代人の抱えるさまざまな悩みを冷静に分析し、解決のヒントを伝授。

『人間の悩み、あの神様はどう答えるか』
沖田 瑞穂/著 青春出版社 (B164 二)

困ったときは、神様の言うとおりに!

日本には、八百万（やおよろず）と表現されるように、数え切れないほどの神様がいて、多くの神話が残されています。大人になってから神話を読み返してみると、畏れ多い神様たちにも人間くさい一面を発見し、親近感がわいてきます。本書では、日本だけでなく、世界各国の神話を元に、現代人の仕事や恋愛、子育てなどの悩みについてアドバイスしています。さあ、あなたの悩みに答えてくれるのはどの神様でしょう。

『佐藤愛子の役に立たない人生相談』
佐藤 愛子/著 ポプラ社 (914 サ)

愛子先生に叱られる!?

叱られる内容は同じでも、母から言われるとつい反論してしまうのに、祖母に言われると素直に受けとめられる、そんな経験ありませんか? なので、相談相手を誰にするかは重要です。中途半端ななぐさめの言葉よりも、人生経験豊富な先輩から、ビシッと厳しい一言を浴びせられたい! と思っているなら、この本を読んでみてください。「ガタガタいうな」と一蹴されることもあります、なんだかんだ丁寧に答えてくれているところに、優しさを感じられる…気がします。

『吉本ばななが
友だちの悩みについてこたえる』
吉本 ばなな/著 朝日新聞出版 (914 ヨ)

友だちの悩みに効く処方箋あります。

ネット上の友だちはいるけどリアルな友だちがいない、ママ友との接し方がわからない、定年退職後の友だちの作り方を教えて欲しい、など、友だちに関する悩みというのは、その人が置かれた環境はもちろん、年代によってさまざまです。この本は、10 代から 60 代の人たちから寄せられた友だちの悩みに対し、人気作家・吉本ばななさん独自の視点から、悩みの本質を見極め、解決法を提案しています。

『道なき未知』 森 博嗣/著 ベストセラーズ (914 モ)

未知なるものを知ろうとすることに価値がある

「やる気が肝心」とはよく言われますが、もともと自分がやりたくないことに対して「やる気を出す」ことは難しい。ならば、やる気など出さずに、イヤイヤでも泣く泣くでも、コツコツ「やれば」あっさり解決するものである、というような内容を読んで、この本は面白い! と思いました。「言われてみれば確かに」ということばかりなのですが、恥ずかしながら、そこまで考えが及ばなかったことを多々発見できるからです。他にも、成功率を上げるには未来を悲観的に考える、自分を信じると失敗する、など、著者独自の発想が満載です。未知なるものを知りたいと思った方はこの本を開いてみてください。

『孤独を生きる言葉』 松浦 弥太郎/著 河出書房新社 (159 コ)

孤独を生きる人に寄り添い、背中を押してくれる。人気エッセイストの箴言集。

『もしブラック・ジャックが仕事の悩みに答えたら』
尾崎 健一/著 手塚プロダクション/協力 日経 BP 社 (159 モ)

天才外科医が仕事の悩みを一刀両断!

手塚治虫の名作『ブラック・ジャック』。まだ自分が中学生だったのはるか昔、碧南市民図書館で借りてきては夢中になって読んでいたことを思い出します。その憧れのブラック・ジャックが仕事の悩みに答えてくれるなんて、手に取らずにはられませんでした。社会人ともなると、一日の大半を会社で過ごすわけですから、仕事における悩みとはまさに、人生の悩みと言っても過言ではないでしょう。本書では、ビジネスパーソンが抱える悩みに対して、解決のヒントになりそうな『ブラック・ジャック』の名シーンを引用しつつ、現実においてどう生かせばよいか考察しています。ちなみに、名シーンを見て原作を読みたくなった方は、ぜひ借りてみてください。